（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ロゲイニング事業でのゼロカーボン推進啓発
事業主体 （連絡先）	朝日村観光協会 （0263-87-1935）
事業区分	（５）環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,144,110 円（うち支援金：1,695,000 円）

事 業 内 容

ゼロカーボン推進の一手段として、環境にやさしい交通手段と意識の啓発を行い、更に交流人口を増やし、移住促進を図る事業としてイベントを 10 月 8 日に開催した。

１.サイクル&E カー等により朝日村平地の全域・松本市・塩尻市・山形村の一部を会場にして観光・文化・自然物をチェックポイントとして制限時間内に計画的に巡回移動して、得られた点数と時間を競った。最初にサイクリングが一斉スタートし、その後 E カーが時間差でスタートした。（サイクリング参加者 33 人、E カー参加者 24 人）

２．会場内に最新の EV カー、E バイク等の展示・乗車体験を行い、参加者・応援者から環境に関心を深めた。

３.各大手自動車メーカー・独自メーカーの地元代理店に呼びかけてイベントに参加、展示、体験乗車を行った。

【活動写真】

【サイクリング&E カーロゲイニング ST（10/８】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

１．参加者及び応援者とイベント関係者及び新聞やテレビなどマスコミをみた一般住民に環境にやさしい交通手段とゼロカーボン意識の啓発に効果があった。

２．村内外の名所、旧跡、自然、施設等チェックポイントをめぐることにより朝日村の観光資源を紹介でき、今後朝日村にリピーターとして期待がもて交流人口の増加及び移住促進の一助と期待が持てる。

３．最新の E バイク、E カーの展示・体験乗車により、ゼロカーボン意識の推進ができた。

４.他イベントでチラシ配布、体験乗車で啓発ができた。

【目標・ねらい】

１.ロゲイニング開催によるゼロカーボン意識の推進
２．イベントで地域の観光文化自然紹介
３.イベントで最新製品の展示・体験によるゼロカーボン意識の推進
４．交通手段の車・バイク・自転車によるゼロカーボン意識の推進

※自己評価【　C　】

【理由】

１．サイクルは目標より参加者が少なかった。また、EV カーがまだ普及されておらず参加が少なく E カーに範囲を広げたがまだロゲイニングの理解がなく参加台数が少なかった。

２．地域の名所旧跡・自然・施設等巡回し、事業は成功だった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

１．今後のイベントやホームページやマスコミによりゼロカーボン推進の宣伝をしていく。

２．今後のロゲイニング開催に向けて参加者の増加の方法として、マスコミで広報や近隣市村の関係諸団体、自治体、E バイク E カーメーカーに参加及び展示・試乗協力依頼を行う。

３．イベント案内のポスター・チラシ・申込書にゼロカーボン推進を明示する。

４．各自治体の公用車、会社団体等の自動車の中から E カー等の参加を今年以上に依頼する。

５．サイクルロゲイニングは塩尻市観光協会が主体となって山形村観光協会、朝日村両観光協会による松本南部地区サイクルツーリズム推進事業とタイアップして広域的に開催したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある